

# 神秘比婆 美しき原風景を訪ねて



比婆齋庭神楽



比婆荒神神楽

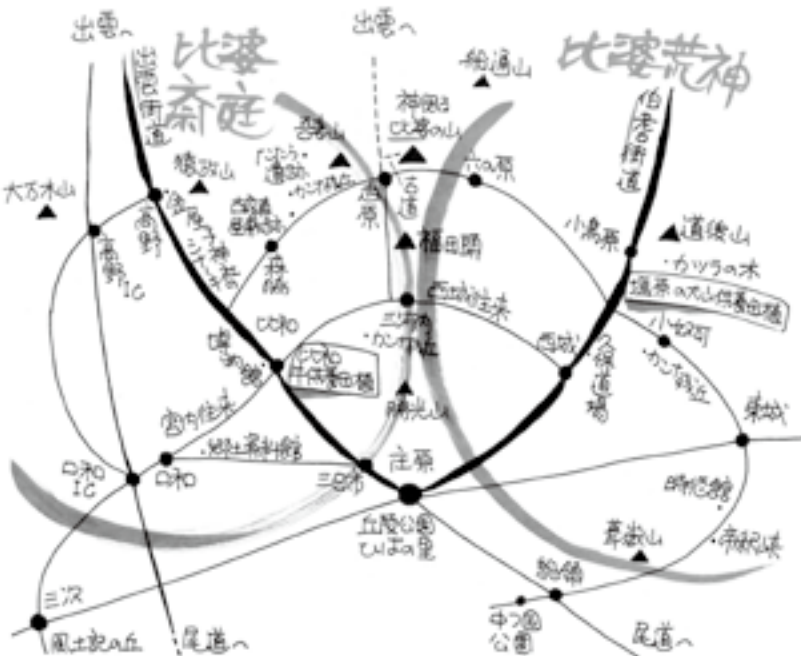
## ※比婆齋庭神楽

比婆齋庭神楽は、比和・高野地域の神職のみによって伝承される。「齋庭」とは神を招くため清められた場所という意味。舞いは素朴、古雅の趣きがあり、囃子も太鼓・笛・手拍子などに古式を伝える神楽。県無形民俗文化財に指定されている。

庄原市観光協会連合会は、「庄原さとやま博」の一環として昨年「古式の農事」というテーマで、農事にかかわる伝統文化の魅力を掘り起こし情報発信するPRキャンペーンを展開してきました。

昨年11月には12年に1度開催される比婆荒神神楽、西城町熊野三坂地区の大神楽を取り上げ広くPR。それぞれ広島県の沿岸部、兵庫県、岡山県などから観光客が訪れました。観光客からは「伝統民俗芸能を地域が懸命に守り伝えようとしていることが大きな宝だ」と思う。感動した「子どものころに見た神楽を思い出し懐かしかった。地域のつながりがうらやましい」という声があるなど、これらのイベントを通し庄原市に残る伝統文化の価値を再認識する機会になりました。そこで、観光素材としての魅力を広く発信するツールとして、地域にある「伝統芸能」「たたら製鉄」「木・花」「食」などのさまざまなさとやま文化をつなぐ新たな観光ルートを設定しました。

## 古式の農事をつなぐ、新たな観光ルートを設定



庄原市の東地域には米子方面に向かう伯耆街道があり、それぞれ国無形民俗文化財である『塩原の大山供養田植』『比婆荒神神楽』が伝えられています。西地域には出雲方面に向かう出雲街道があり、それぞれ県無形民俗文化財である『牛供養田植』『齋庭神楽』が伝えられています。

問い合わせ 庄原市観光協会連合会 ☎0824-75-0173

さとやまの原風景を望む  
2つのルート

今年はもちろん古事記編纂1300年にあたり、島根県では年間を通してさまざまなイベントが開催される予定で、山陽側から山陰側へ向かう観光客が増える予想しています。

この観光ルートの設定は、山陽と山陰の中間点に位置する庄原市のロケーションを生かし、さとやまの魅力を引き出した「陰陽を中つ道」をPRする

ことで、通過点ではなく目的地にしておうという取り組みです。ルートは比和・高野から出雲方面へ向かう『比婆齋庭』ルート、西城・東城から伯耆方面へ向かう『比婆荒神』ルートを設定しました。

四季折々のさとやまの美しい原風景を多くの観光客に楽しんでもらえればと期待しています。

詳細は、チラシやホームページ、動画配信などで3月から発信する予定です。